REIMEI 黎明（れいめい）

～一般社団法人　日本PVプランナー協会会報誌～　Vol.31　2023夏号

Contents

・特集

①住宅用太陽光・蓄電池付帯保険

②住宅用延長保証制度

・地区会・WEBセミナー開催＆社員研修

・地区会レポート/九州地区、中部・東北地区
関東地区、近畿北陸地区

・会員企業訪問/㈱サステナ
㈱丸和

多様化する再エネとの関わりの中で

一般社団法人日本PVプランナー協会　副理事長　山元広大

今年も梅雨に入り、ニュースで各地の豪雨災害などをよく目にするようになり、気候変動というものをますます肌で感じるようになってきました。

弊社、トラック運送事業のお話になるのですが、こちらでも何といっても大きいのは地球環境問題です。CO2排出量の社会全体の約20%が運輸業界によるもので削減率も最も低いとされており、決して小さい数字ではなく、カーボンニュートラルを実現するに当たって、運輸業界の脱炭素化は欠かせません。

各地に拠点のある大手ではトラックのEV化、可搬型バッテリーの実用化への取組みなどが行われていますが、中小企業の比率が99%と最も多い業界ですので、やはり各地域でのバッテリーステーションに自家消費型の再生可能エネルギー発電設備を設置し、災害時には防災拠点として地域防災計画へ位置付ける、地方公共団体と連携を図るなど、まだまだクリアしていかなければならない事が沢山あるのが実情です。

協会の皆様の再エネとの関わり方も今後さらに多様化されていくとは思いますが、会員の皆様と共に学び情報共有し、持続可能な社会の実現に向けて太陽光発電の健全な市場発展に努めていきましょう。

一般社団法人 日本PVプランナー協会　理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には
1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

協会ホームページに「重要情報ピックアップ」　バナーを公開中

日本PVプランナー協会のホームページでは重要情報ピックアップバナーを掲載しております。協会員の皆様に重要と思われる事項をメール配信しておりますが、見逃されたり、後日見たい方用に改めてピックアップし、項目別に掲載しておりますので、ご覧いただけたら幸いです。

合わせて重要情報ピックアップの冒頭には協会活動のパンフレットも掲載しております。当会の活動のご説明が必要な時にお使いください。

【ピックアップ例】
○太陽光パネルの廃棄・リサイクル問題
○太陽光パネル製造時の人権侵害問題

事務局だより

脳梗塞発症から丸9年、3年かかり杖なく歩行、5年目にプールリハビリを開始し、手足の麻痺が改善。6年目に昔の友人に再会し、バイク購入するも立ちごけするためトライクに変更しツーリング開始。2年前からよき仲間に巡り会い、手助けを受けながらゴルフ開始。

毎週、毎週ゴルフ練習リハビリを行い、手と足指の麻痺もかなり改善。地元仲間のラウンドも11回を数え、初回140から115～125（山谷あり）までになった。

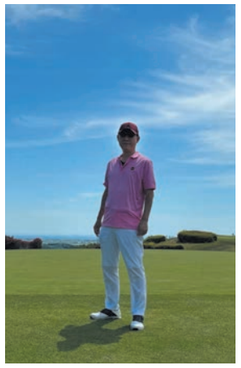
コースを歩くのもやっとだったのが、だいぶ人並みになってきた気がする。

全てサポートしてくれた地元仲間のお蔭です、感謝！

何がいいたいかというと医学界では脳梗塞の麻痺は最初の半年から1年、よくて2年くらいしかリハビリ効果はないとされています。

けれど諦めず続けてゆけば、9年たってもまだまだリハビリの効果はあるということ。

入院当時、寝たきりになるといわれ、杖突ながらも歩いて退院するときに、主治医から「歩けるの！？しゃがめる？」といわれた言葉は一生忘れず心に刻んでリハビリしていこうと思っています。　（大槻）

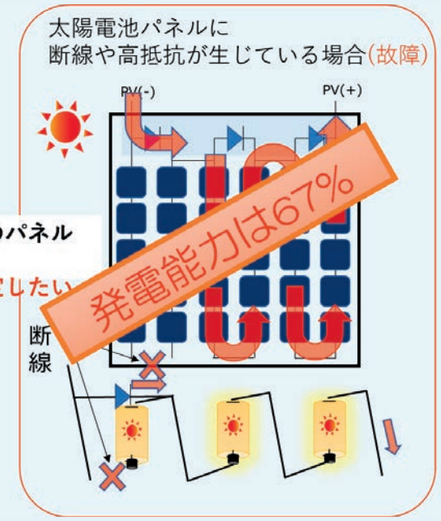


お問い合せは…

一般社団法人 日本PVプランナー協会

〒102-0084
東京都千代田区二番町3番地10
白揚ビル2階
TEL：03-6256-9970／FAX：03-6256-9971
Web　https://pv-planner.or.jp
Mail　support@pv-planner.or.jp

制作・編集:㈱電設出版



Solamente

太陽光パネルのメンテナンスツールは　ソラメンテ

お問い合わせ
東洋計測器株式会社
TEL. 03-3255-8035
FAX. 03-3255-8076
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル
URL:https://www.keisokuki-land.co.jp/

株式会社 アイテス
〒520-2151　滋賀県大津市栗林町１番60号
製品開発　TEL.077-599-5040　FAX.077-544-7712
URL:https://www.solamente.biz/　e-mail:sales02@ites.co.jp

協会員専用付帯自然災害保険が新しくなりました！

ソーラーシェアリング対象 | オンサイト・オフサイトPPA対象 | 自家消費対象 | 蓄電池・V2H対象 | 野立て・屋根上対象

一般社団法人日本PVプランナー協会

協会員様専用　太陽光発電設備 自然災害補償制度

商品ラインナップ

① 新設太陽光発電所販売付帯　動産総合保険（補償期間5年）

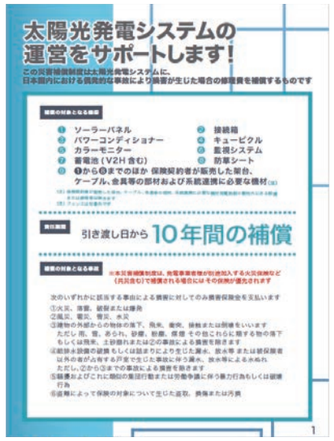
対象：パワコン容量10kW以上1,000kW未満かつ販売価格1億円以下の設備

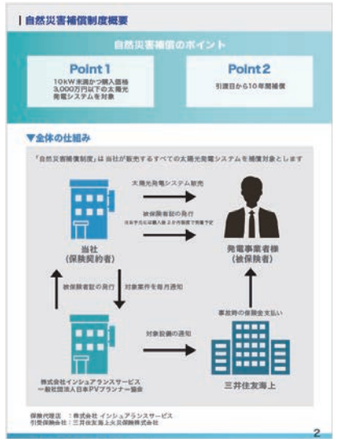
② O&M契約付帯動産総合保険（補償期間5年）

対象：パワコン容量10kW以上1,000kW未満かつ販売価格1億円以下の設備

③新設太陽光発電所販売付帯　動産総合保険（補償期間10年）

対象：パワコン容量10kW未満かつ販売価格3,000万円以下の設備





本制度の特徴

特徴①：蓄電池のみのお引き受けも可能！！

・10kW未満の既存発電所に蓄電池を新設する際には本制度で蓄電池のみを補償の対象とすることが可能です。
・蓄電池設置の際に必要なパワコンなども対象となります。

特徴②：協会員専用の独自レートをご提供しています！！

・自然災害増加に伴い太陽光発電所に関する火災保険・動産総合保険料率が改訂する中、本制度は過去2年間改訂していません。
・協会員専用のレートをご提供しているため他社には真似できません。

特徴③：長期契約が可能！！

・ほとんどの保険会社で太陽光発電所に関する保険の長期契約の引き受けができなくなっていますが、
本制度では、長期5年、10年の契約が可能です。

特徴④：事故のお支払いは保険会社が認める損害額100%をお支払いします！！

・免責金額、縮小支払いなどの削減特約は付加されておりません。

お問い合わせ

※こんな方は是非お問い合わせください！！
□他業者と比較になることが多く自社の強みを見いだせない
□お客様からメンテナンスなどのコストを削減の依頼を受けている
□今入っている保険が上がって困っていると相談を受けた
□蓄電池の自然災害補償がなくて困っている

株式会社インシュアランスサービス
東京営業部1課　山本　花菜子
〒160-0016東京都新宿区信濃町35信濃町煉瓦館4F
TEL：03-3356-3239／MAIL：pv-planner@inss.jp
株式会社インシュアランス サービス

住宅用太陽光発電の延長保証制度を開始いたしました

太陽光モジュール / 蓄電池システム延長保証

太陽光モジュール / 蓄電池システム延長保証　概要

メーカーが製品販売時に付帯する「メーカー保証」をメーカー保証期間終了後、「メーカー保証」規定に準拠し、最長 20 年間までメーカー保証のサービス内容を延長する事が可能なサービスです。
保証加入されたユーザー様は保証期間内に発生した製品の故障・不具合の修理サービスを無償で受ける事が出来ます。

保証限度額最大 200 万円

保証期間内 修理金額を負担

延長保証限度額は 1 事故 200 万円
ただし、販売価格（消費税込）を
限度とします

修理回数無制限

延長保証期間中
修理回数を制限なし

作業費・出張費も保証

メーカー保証 ≒ 延長保証

修理取付時の作業費・出張費も保証します
※保証限度額（最大 200 万円）に含まれます
※保証内容はメーカー保証規規程に準じます

無償修理サポート対象外

自然災害による故障・トラブル：火災 ✕　落雷 ✕　地震 ✕　水害 ✕

その他故障・トラブル：経年劣化 ✕　業務用使用 ✕　盗難 ✕

※保証規程は各メーカー保証に準じます。（各メーカーのメーカー保証により保証内容が異なる場合が御座います。）　※通常のメンテナンス・清掃作業・安易な消耗部品交換　※改造等に起因する故障・トラブル
※メーカーの取扱説明書に反した使用方法に起因する故障・トラブル　※施工が起因する不具合　※製品機能・性能に関わらない、外観の経年劣化・材質変化　※破損、火災・落雷・洪水・地震等、天災・人災による故障

延長保証料金

対象製品　太陽光モジュール・蓄電池システム一式（パワーコンディショナー含む）	20 年保証　金額	
	税　抜	税　込
➡【メーカー保証 10 年】＋【10 年 延長保証】（容量保証 無）	109,091 円	120,000 円
➡【メーカー保証 15 年】＋【 5 年 延長保証】（容量保証 無）	95,455 円	105,000 円
➡【メーカー保証 10 年】＋【10 年 延長保証】（容量保証 有）	145,455 円	160,000 円
➡【メーカー保証 15 年】＋【 5 年 延長保証】（容量保証 有）	109,091 円	120,000 円

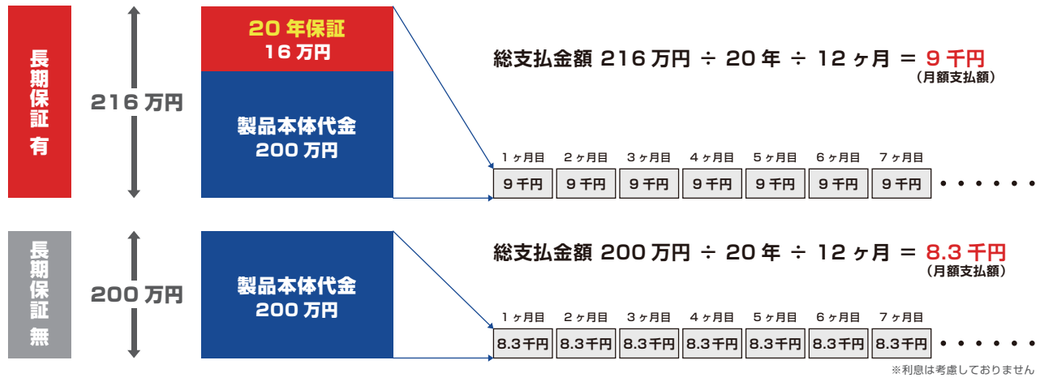
対象製品　蓄電池・パワーコンディショナー	20 年保証　金額	
	税　抜	税　込
➡【メーカー保証 10 年】＋【10 年 延長保証】（容量保証 無）	101,818 円	112,000 円
➡【メーカー保証 15 年】＋【 5 年 延長保証】（容量保証 無）	86,364 円	95,000 円
➡【メーカー保証 10 年】＋【10 年 延長保証】（容量保証 有）	140,000 円	154,000 円
➡【メーカー保証 15 年】＋【 5 年 延長保証】（容量保証 有）	109,909 円	111,000 円

保証概要（会員証記載）

対象機器	太陽光モジュールまたは蓄電池システム一式 (パワーコンディショナー含む) もしくはその両方
対象事由	①本商品の自然故障 (第 6 条に該当するものを除く) ②対象生産物のうち、蓄電システムの SOC(充電可能容量) が初期容量の 60%以下となり自動停止した場合 上記に該当する場合の右記の費用　・部品代、材料費 (運搬費を含む)・作業工賃、技術料・出張費
保証期間	メーカー保証開始日から 20 年間（ただしメーカー保証期間中の場合は、メーカー保証が優先して適用されます） メーカー保証 10 年の場合、バックアップ保証（※）期間 10 年 メーカー保証 15 年の場合、バックアップ保証（※）期間 15 年 ※バックアップ保証 メーカーの事業撤退や倒産等によりメーカーが自らの製品保証を履行することができない場合には、メーカーに代わり保証修理（バックアップ保証）を行います
免責期間	なし　ただし、メーカー保証、メーカーバックアップ保証が有効な期間は免責とする
1 事故毎の支払限度額	税込 200 万（自動復元あり）　ただし、販売価格 (消費税込み) を限度とします

本制度の活用事例

事　例　メーカー保証 10 年の太陽光発電システム 200 万円に対して 20 年の長期保証をセットして販売（20 年ローンを組んだ場合）



※利息は考慮しておりません

20 年ローンを組んだ場合、保証がない場合と比較すると月額あたりの負担は約 700 円となります。
実際にご導入頂いております企業様では以下のような販売手法で当該制度をご活用頂いております。

パターン①　保証料を販売価格に転嫁する場合

総額コストを比較をすると約 16 万程度競合と比較し高くなってしまいますが、実際にはローンを組むケースが多く月額あたりの負担は 1,000 円未満となります。耐用年数は 15 年程度と言われている中で、20 年間の保証は非常に魅力的と感じて頂き、コストがかかっても選んでいただけるケースが多いとのことです。

パターン②　保証料は販売店様の負担とする場合

保証料を経費とすることで販売店様の 1 件当たりの利益が圧縮されてしまいます。
しかしながら、当該保証制度を活用することで他販売店との差別化に繋がり、販売件数の増加に寄与するとのお声を 20 年保証を展開されている販売店様から頂いております。

Q & A

Q1. メーカーバックアップ保証の内容
A1. メーカー保証期間中において、メーカーが保証を履行できない場合（倒産や事業撤退等のケース）に代わりに保証を行うものです。（ただし、保証限度額は延長保証期間中同様 200 万円となります。）

Q2. 太陽光パネルが 1 枚だけ故障した場合の取り扱い
A1. 交換したパネルは保証対象外となりますが、交換していないパネルは保証が継続します。

Q3. 当該保証加入製品がメーカー保証を利用した場合の取り扱い
A1. メーカー保証 10 年の製品において 9 年目でメーカー保証による交換を実施した場合、残期間 11 年に対して当該保証が適用されます。（ただし取替後製品のメーカー保証期間中はメーカー保証が優先されます。）

Q4.「住宅用」太陽光発電設備の定義
A1. サイズ・出力数等に関わらず「一般家庭用（住宅用）の用途に使用されている製品」が対象となります。※ただし、屋根設置型に限ります。

Q5. 海外メーカーの保障内容は修理ではなく、交換となる。当該製品において延長保証期間中に故障が発生した場合も修理ではなく交換してもらえるのか？
A1. 交換可能です。

Q6. トライブリッドパワコンも保証対象となるか？
A1. 保証対象となります。

Q7.DC/DC コンバーターは保証対象となるか？
A1. 保証対象となります。

Q8. メーカー保証終了後、メーカーが修理をするとは思えないが、その点どのような運用になるのか？
A1. メーカー側で修理可能な場合には修理手配、メーカー側で修理不可・機器交換対応の場合には機器交換対応となります。

Q9. メーカー保証期間中に故障した場合も保証会社のサービスを受けられるのか？
A1. メーカー保証期間中は販売店 / 施工店様にてご対応頂く形になります。（保証会社のアフターサービスはご利用いただけません。）

Q10. 保証限度額はいくらか？
A1.1 故障あたり、200 万円もしくは故障製品の販売価格のいずれか低い額となります。

Q11. 作業費・出張費についてメーカー保証は対象外でも本制度は対象となるのか？
A1. 対象となります。

会社概要

ジャパンワランティサポート株式会社（JWS）　証券コード　7386　ジャパンベストレスキューシステム株式会社の 100% 出資子会社

代表取締役　庄司　武史
所　在　地
本　社
〒100-0004　東京都千代田区大手町 2-1-1 大手町野村ビル 7F
名古屋本部・カスタマーサポート（コールセンター）
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 1-5-11 名古屋伊藤忠ビル 4F
大阪営業所
〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-6-13 新大阪御幸ビル 7F
事業内容　各種製品の品質、性能の保証及び修理
コールセンターの運営及びコンサルタント業務
営業時間　平　日　9:30 ～ 18:30
※土日祝　定休　※コールセンターは年中無休

【お問い合わせ先】
担　　当　東京本社 第二営業部
飯塚　祐一郎
電話番号　03-5204-0915
070-1490-0136
アドレス　y.iizuka@jpwsp.jp

※（一社）日本PVプランナー協会ではこの制度のQ&AをHPにて公開しております

地区会レポート

―九州地区会―

「沖縄における太陽光発電の現状と未来」

沖縄開催（2023年4月10日）

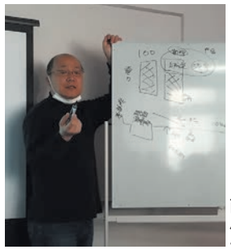
4月10日(月) 沖縄県那覇市において九州地区会を開催いたしました。原エリアマネージャーの念願であった沖縄県での初の地区会開催が実現しました。

まず沖縄県の協会員である株式会社太陽ホームの神里陽太氏より、沖縄における太陽光発電の現状についてお話ししていただきました。太陽ホームさんは住宅用太陽光発電をメインとして営業されており、沖縄は平らな屋根の建物が多いので防水措置も含めて設置はしやすい反面、台風が多い地域ということもあり、架台については強風対策のため、オーダーメイドで調達しているそうです。野立てに関しては、地域性から災害時の被害を不安に思われる方が多いので丁寧に説明されていらっしゃるとのことです。一つ一つの案件に対し細やかな対応をされている会社の姿勢をうかがうことができました。

原エリアマネージャー

神里氏

次に『宮古島におけるエネルギーの地産地消について～沖縄本土における試みと全国的に起こるであろうその先について』と題して、パナソニックエレクトリックワークス社の西川弘記氏に講演していただきました。西川氏は沖縄で分散電源を活用するエネルギーシステムの実証事業を６年ほど続けていらっしゃいます。事業内容はエリアアグリゲーション（制御）と再エネサービスプロバイダの2つに分けて実施されていて、基本的には住宅内での自家消費をメンテナンスも含めて動かしていくことにあり、宮古島の他に、来間島、石垣島でもさまざまな実証が始まっているそうです。普及対象設備についての成功例、困難克服例を挙げながらストレージパリティモデル（戸建住宅PV蓄電池）をご紹介いただきました。現在では1日に1棟くらいのペースで建設が進んでいて、太陽光、エコキュート、蓄電池を含めたシステムを備えた住宅が、宮古島では700棟ほど、沖縄本島では800棟ほどを数えるほどになっているそうです。その1棟1棟について、架台も含めてある程度規格を決めセットアップ化することで、現場での施工が少しでも楽になるように、またコストを少しでも下げるための努力もされています。来間島では地域マイクログリッドとしての実証も開始。全40棟ほどに太陽光、マイクログリッド用の蓄電池、ディーゼル発電機を設置し、島内での地域電源としてしっかりと組み上げていくことで、電気の地産地消が可能となるよう実証が続けられています。


西川氏

さらに余剰電力については、NEDO事業の一環として、宮古島島内に再エネのみで稼働な小規模植物工場を建設して、DR発動や緊急時に対応可能な離島モデルの構築も試みられています。

情報交換会では、沖縄のおいしいお酒とを料理に舌鼓を打ちつつ、引き続き親交を深めることができました。

地区会レポート

―中部地区会―

脱炭素先行事例 松本市のりくら高原「ゼロカーボンパーク」

名古屋編（2023年5月23日）

名古屋市にて中部地区会をリアル＆WEBにて開催いたしました。参加者はリアル15名、WEB参加者は17名でした。

まずはWEB講演として松本市環境・地域エネルギー課鈴木課長様より脱炭素先行事例の第1回公募採択された松本市のりくら高原「ゼロカーボンパーク」について構想から設立、今後の方向性など詳細にお話をうかがいました。特に脱炭素化するにあたり、市内の地域別（山部、町部）の進め方やいかに地元住民、企業の中で循環させ、地域の課題に取組むかが重要とのことでした。

続いて中部会員(株)松原電機の松原様より、一般のお客様目線での住宅用太陽光・蓄電池の提案を普段行っているままにお話しいただきました。新たな発見がありました。

講師(株)松原電機 松原氏

講師(有)吉村設備工業 吉村氏

最後は中部会員㈲吉村設備工業の吉村様から脱炭素社会推進に向け、住宅用太陽光販売からその先へという内容で、業界を支える施工店のプライドと技術を持ちながら顧客のよき相談者として、脱炭素社会を進める自社の活動についてお話いただきました。

―東北地区会―

使用前自己確認について体験談 太陽光パネル生産時の人権侵害問題

仙台編（2023年5月26日）

仙台市にて東北地区会をリアル＆WEBにて開催いたしました。参加者はリアル17名、WEB21名でした。

佐々木エリアマネージャーの開会挨拶があり、そのまま講師として4月1日から始まった10kW～50kW未満の使用前自己確認についてご自身の体験と調べていただいた事項についてお話をいただきました。実際にやってみないとわからない部分をご説明いただき感謝です。

続いてREC Solar Japan(株)の岡田様より、太陽光パネルの製造時における人権侵害問題について、先行しているヨーロッパやアメリカの事例をお話いただきました。

佐々木エリアマネージャー挨拶
兼講師(ミナト電気(株)佐々木氏

講師REC岡田氏

講師パナソニック大木氏

東京都を始め自治体の義務化が進むほど住民からの問合わせが増える。さらには企業からの問い合わせも増えるため有益な情報でした。

最後はパナソニック(株)エレクトリックワークスの社大木様よりV2Hの新商品の説明を行っていただいたところ、多くの質問がされ、一つ一つ回答をしていただきました。

地区会レポート

―関東地区会―

「営農型太陽光発電所の見学会」

千葉市編（2023年6月2日）

台風2号が近づく小雨の中、JR千葉駅に14名の会員様が集合し見学会を開催致しました。
チャーター車2台に分かれて乗り、千葉エコ・エネルギー株式会社様の大木戸アグリ・エナジー1号機の営農型太陽光発電を含め3発電所へ向かいました。

はじめに、大木戸アグリ・エナジー1号機を見学。面積は10,000㎡で、出力は625kW。支柱間4.5m、高さ4.5mと今まで見学してきた発電所のなかでは大きな空間を感じました。トラクターの動きやすい広さを考慮したとのことでした。遮光率48%は野菜を育てるのにぎりぎりの遮光率ということでした。栽培は、葉物、根物ほか10品程度行っています。支柱は丸みを帯びた形状をしていて、これは人への安全性を考慮しているとのことでした。

1号機

次の発電所は、面積は1,000㎡、出力は49.5kW、支柱間4.5mで高さが3.5m。遮光率が35%と、米・麦・大豆とほとんどの野菜が栽培できるとのことで、先ほどの発電所より明るい感じがしました。

次の発電所へ向かう途中で、2019年10月台風19号の風速57.5mの風で倒れた倒木を見ました。先ほどから見て来た2か所の発電所は、その風でも何ともなかったとのことでした。

台風による倒木

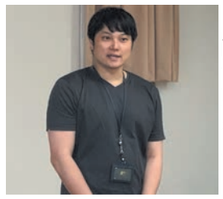
2号機

3番目の発電所は、面積1,350㎡、出力49.5kW、支柱間5.0m、高さ3.5m。遮光率28%、果樹（イチジク）をプランターで育てるため、地面に白い防草シートを敷くことができ、両面受光パネルが活用されていました。両面受光パネルと、白い防草シートのおかげで、15%～20%発電量がアップしています。灌水チューブを架台に設置しており、自動で液肥が果樹に与えられるようになっていました。

3号機 イチジク果樹

次は大見町公民館に移動しセミナーを行いました。岸田エリアマネージャーの挨拶から始まり、「営農型太陽光発電のこれまでとこれから」と題して、千葉エコ・エネルギー株式会社代表取締役馬上丈司氏の講演がありました。営農型太陽光発電で目指すものは、「農地における食料とエネルギーの生産を通じて、食料安全保障とエネルギー安全保障を両立させていく」「農業・農村におけるエネルギーの電化と脱炭素化を図り、環境負荷が低く持続可能な農業生産と真の食料自給を実現する」「エネルギーの生産と供給を通じて農業者や農村部の所得向上を図り、新たな豊かさを実現して行く」「気候変動による生産環境の変化に適応した、新たな地域の農業モデルを確立していく」というお話がありました。

岸田エリアマネージャーからは営農型太陽光発電の安全性についてソーラー・エッジの活用について解説して頂きました。



岸田エリアマネージャー

講師千葉エコ・エネルギー 馬上氏

地区会レポート

―近畿・北陸地区会―

「脱炭素社会に向けた施策と支援策の動向」

新大阪編（2023年4月7日）

新大阪にて、近畿・北陸地区会をリアル&WEBで開催しました。参加者はリアル33名、WEB11名でした。

米川エリアマネージャーの開会挨拶があり、続いて新入会会員の会員証授与を行いました。続いて、当協会常務理事大槻氏による「脱炭素社会に向けた施策と支援策の動向について」の講演を行いました。あわせて4月5日環境省より公共団体(自治体等)向けPPAよる太陽光発電設備導入の手引きが公表されたので、地域の公共団体(自治体等)がご存じなければ情報提供し地域に役立ててほしいとお話がありました。続いて、株式会社旭テクノロジー代表取締役幸長保之氏による講演「新たなドローンのクラウドによる活用について」として、今までは、施工前の現場調査に行くのに多くの人数と経費がかかっていました。それが、ドローンと「くみき」ソフトを活用することで、①設計・建設の工事計画の精度が向上。②顧客の要望に対しスピード対応。③最小人数(2名)で現地調査が可能。④コスト(経費、土木費用)が大幅に削減。⑤時間(現場調査～設計～客先提案)が50%以上短縮。⑥プロジェクトメンバーとの共有。これらが解決することができたというお話がありました。最後に小グループに分かれて今後の地区会の内容等を懇談的に話し合いました。

米川エリアマネージャー

講師(株)旭テクノロジー 幸長氏

2023年5月17日(水) WEB第1回太陽光発電O＆M研修会基礎編を開催いたしました

FIT野だて発電所の保守点検需要が増えていると同時に自家消費発電所や非FIT野だてのように企業所有の屋根・敷地設置も増えており、その維持管理が重要となってきております。

特に自家消費提案においてO&Mの提案をすることで差別化が図れるという事例も出ております。そこで当協会では継続的かつ実践的なO＆M研修会を行うべく、協力団体である一般社団法人太陽光発電メンテナンス協会のご協力のもと本研修会を継続開催することになりました。

第1回はWEBにて基礎編ということで
①太陽光発電所O&Mが求められる背景
②太陽光発電所のO&Mの現状
③求められるO&M
(1)必要な書類（発電所関連、契約書、発電所関連ドキュメント、保険内容、法令関係）

（2）事業者との契約書類（事業者との保守点検契約書サンプル）
④点検内容（電気点検・構造点検・目視点検）について
⑤効率のよい点検方法について
⑥O&Mから波及するビジネス
（1）有料スポット作業(除草・パワコン交換・パネル交換・パネル洗浄など）説明
（2）リパワリング改修工事について
※事前事後のヒアリングや参加者意見により次回内容を決め、発電所実技も行っていきます。

2023年 WEBセミナー開催報告

開催日	内容	参加者数
1月27日(金)	省エネ改正法　非化石エネルギー導入計画について（中国四国地区会WEB）	50名
2月7日(火)	FITに頼らず野だて太陽光を作り販売する実例（九州地区会WEB）	22名
3月8日(水)	自己託送の進め方セミナー	45名
3月22日(水)	蓄電池シミュレーション～企業に対する営業・補助金説明	43名
3月29日(水)	V2H各社比較セミナー＆経産省他補助金説明会	59名
4月5日(水)	環境省補助金説明会～昨年との変更点の説明	113名
4月7日(金)	脱炭素社会施策と支援策＆クラウドによる新たなドローン活用方法（近畿北陸地区会WEB）	11名
4月25日(火)	協会員向け付帯保険制度＆住宅用延長保証制度の説明	34名
5月17日(水)	第1回太陽光発電O&M研修会　基礎編	36名
5月23日(火)	松本市脱炭素先行事例＆住宅用太陽光蓄電池提案＆その先へ（中部地区会WEB）	17名
5月26日(金)	使用前自己確認体験談＆V2H新商品説明（東北地区会WEB）	21名

第2期　WEB会員企業社員研修（有料）開催報告

会員企業様において入社まもない社員様や施工担当・営業担当社員様と協力業者様を含む会社単位で受講可能な社員研修をWEBにて開催いたしました。今回も5社の会員企業様から申し込みがあり、研修項目ごとに質疑タイムをとり、参加社員様の質疑に答えながら進めてゆき、無事に終了いたしました。WEB研修のため録画もお渡しし、以後の社内研修に役立てていただけると思います。

【研修内容】
①太陽光発電・蓄電池システムの基本（90分）
石丸講師
②日本のエネルギー政策と太陽光発電の未来（90分）
馬上講師
③自家消費太陽光発電システムの考え方（70分）
大槻講師

開催日	所属エリア	会員企業名	参加者数
4月17日(月)	中部会員	松下電建㈱	28名
4月19日(水)	中国・四国会員	㈱エコロステーション	22名
4月24日(月)	九州会員	宮崎電力テックソリューションズ㈱	9名
4月26日(水)	関東会員	凸版印刷㈱	18名
5月10日(水)	中国・四国会員	㈱エコラボ	14名

We'll create a ～私たち明るく輝く子供たちの笑顔のために持続可能社会を創造します～

㈱サステナ（関東エリア会員）

「自然は、先祖から譲り受けたものではなく、子孫からの借りものである」――。

これは代々ネイティブアメリカンの間で語り継がれている教えで、私はいつもこの言葉を心にとどめ置くようにしています。

私は、日本の文化、日本の風景、日本人の心が好きです。一人の日本人として、それを子供たちに伝えていかなければならないと感じています。同時に、環境事業に携わる者として、「持続可能な生活環境の創造」をしていくことこそ、私たちの使命だと考えています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、エネルギーに対する人々の意識を劇的に変えました。とくに原子力発電所の事故は、資源の少ないこの国においてエネルギー問題を真剣に考える大きなきっかけとなりました。あの震災から私たちが何も学ばなければ、それは怠慢以外の何物でもないでしょう。

太陽光発電を知り、太陽光発電を活かし、太陽光発電と生きる。それは、「自然を知り、自然を活かし、自然と生きる」ことと同義語です。私たちの子孫が、都会にいても田舎にいても自然を感じながら、本当の意味で豊かな生活を送る。私はそんな日が来ることを夢見ながら、今日もネイティブアメリカンの言葉を心の中でつぶやいています。

・会社概要・
社名：㈱サステナ
住所：神奈川県藤沢市羽鳥1-6-7
代表者：小田島龍一
創業：2012年
主な事業：太陽光発電システム設計・設置工事、蓄電システム設置工事、EV充電システム設計・設置工事、携帯電話基地局設置工事、計装装置設置工事、CATV導入工事、セキュリティシステム設置工事

エネルギーの自給自足を家庭にも

㈱丸和（中部エリア会員）

弊社は、創業6年のまだまだ駆け出したばかりの企業です。私自身は、10年ほど前に太陽光発電システムの仕事に携わるようになりました。主に、戸建住宅に太陽光発電システムを設置させていただいております。

今日現在、工場や事務所などの場合は、太陽光を設置してエネルギーを賄っていくのが主流となっております。しかし、戸建住宅においては再エネに対しての設置率はまだまだです。一般的には、太陽光に興味はあるがどこに依頼してよいのか？また、その業者は本当に大丈夫なのか？と不安をお持ちの方がたくさんおみえになります。これだけ、ネット環境が充実しているとはいえ、なかなか第一歩が踏み出せない方がいます。

弊社は、従業員５人の零細企業ですが、お客様一人ひとりと信頼関係と築きながら毎日の業務に励んでおります。どのような物件も一軒一軒、お客様の事を考え最適なプランをご提案しております。

これからも設置させて頂いたお客様からお礼を言われる企業を目指し、もっと多くの太陽光発電システムを設置した戸建住宅を増やせるよう努力してまいります。

・会社概要・
社名：㈱丸和
住所：愛知県稲沢市日下部中町4丁目27番地
代表者：兼丸剛
創業：2017年
主な事業：戸建住宅に太陽光発電システム・蓄電システム
V2H充放電設備・エコキュート・IH、ご提案と設置工事